(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2007-185151
(P2007-185151A)
(43)公開日　平成19年7月26日(2007.7.26)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A01K 97/00	(2006.01)	A01K 97/00	Z	2B109

審査請求 未請求　請求項の数 2　OL　（全 10 頁）

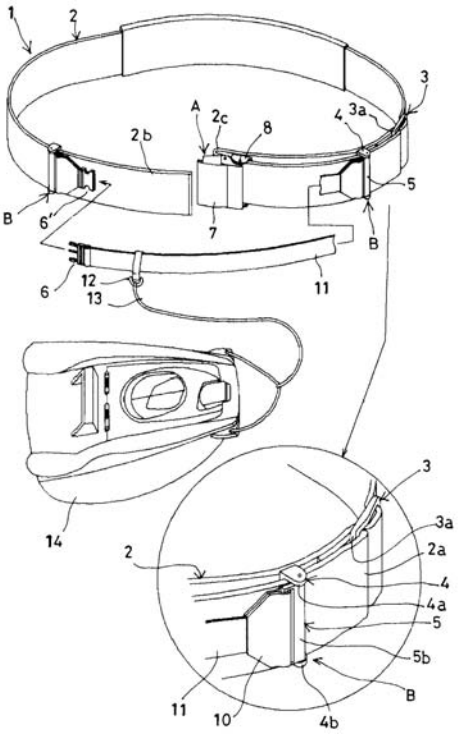
(21)出願番号　特願2006-6764(P2006-6764)
(22)出願日　平成18年1月13日(2006.1.13)

(71)出願人　000002495
ダイワ精工株式会社
東京都東久留米市前沢３丁目１４番１６号
(72)発明者　八木　啓之
東京都東久留米市前沢３丁目１４番１６号
ダイワ精工株式
会社内

Ｆターム(参考)　2B109 FA01　FA03

(54)【発明の名称】釣用ベルト

(57)【要約】
【課題】　ベルト本体に対して案内紐の少なくとも一方の端部の移動を極めて容易にした釣用ベルトを提供することである。
【解決手段】　バックルＡと調整環体３の間のベルト本体２には保持部材Ｂが取り付けられ、ベルト本体２の他の端部２ｂ側には保持部材Ｂが取り付けられている。
保持部材Ｂはベルト本体２に取り付けられる枠体４と枠体４に回動自在に取り付けられる取付部５で構成されて枠体４の内面と取付部５の突部５ａとの間にベルト本体２が挟み込まれている。
二つの保持部材Ｂの一方の取付部５には連結布１０を介して案内紐１１の一端が固定され、案内紐１１の他端に止め具６が取り付けられている。
他方の取付部５には連結布１０を介して止め具６′が取り付けられている。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
ベルト本体に沿うように魚入れ容器保持用の案内紐の両端を前記ベルト本体に取り付けた釣用ベルトにおいて、前記ベルト本体に該ベルト本体に沿って移動可能に保持部材を設け、前記案内紐の少なくとも何れか一方を前記保持部材を介して前記ベルト本体に取り付け、前記保持部材は前記ベルト本体に係合及び係合解除可能としたことを特徴とする釣用ベルト。
【請求項２】
保持部材はベルト本体に取り付けられる枠体と枠体に回動自在に取り付けられた案内紐を取り付ける取付部を有すると共に枠体と取付部の何れか一方に前記ベルト本体に係合する突部を設けたことを特徴とする請求項１記載の釣用ベルト。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、鮎釣等で釣人が腰に取り付ける釣用ベルトに関する。
【背景技術】
【０００２】
従来から例えば特許文献１の公報図９のように、ベルト本体にびくや引舟のような魚入れ容器のロープを移動自在に保持しておく案内紐を設けた釣用ベルトが紹介されている。
このような釣用ベルトは着用する人の体型や釣場の状況に応じた服の状態で胴回りが異なるために長さ調節が可能になっている。
上記公報でベルト本体はベルト両端部の一方の止め具にベルトを挿通して折り返し、この折り返し長さを変えることで長さを調節し、折り返した端側は横長の四角形の周辺フレームの中央を上下方向に横切って架設された中央のフレームを有する調整環体にベルト本体に沿って挿通して保持される。
上記ベルト本体に対して案内紐は、上記ベルト本体の止め具を小型化した止め具を夫々バンドを介してベルト本体に沿って移動可能に設けた上記調整環体とベルト本体に固定した枠体に取り付け、案内紐の両端に上記小型止め具と係合可能な止め具を固定して係合している。
ベルト本体の長さ調節の折は、折り返し長さを変え、調整環体の位置を変えることになり、調整環体にベルト本体と折り返し部が重ねられて挿通されているので、調整環体の位置調整がしずらい。
ベルト本体の長さ調節や案内紐を適度の余裕のあるたるみを持たせるように調整するときは調整環体を移動させることになるが、ベルト本体と折り返し部が重ねられて調整環体に挿通されているので、調整環体の位置調整がしずらくなっている。
【特許文献１】特許第３３８０６９９号公報
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００３】
解決しようとする問題点は、ベルト本体の長さ調節や案内紐を適度の余裕のあるたるみを持たせるように調整するときは調整環体を移動させることになるが、ベルト本体と折り返し部が重ねられて調整環体に挿通されているので、調整環体の位置調整がしずらくなっていることである。
【０００４】
本発明の目的は前記欠点に鑑み、ベルト本体に対して案内紐の少なくとも一方の端部の移動を極めて容易にした釣用ベルトを提供することである。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
本発明の請求項１は、ベルト本体に沿うように魚入れ容器保持用の案内紐の両端を前記ベルト本体に取り付けた釣用ベルトにおいて、前記ベルト本体に該ベルト本体に沿って移

動可能に保持部材を設け、前記案内紐の少なくとも何れか一方を前記保持部材を介して前記ベルト本体に取り付け、前記保持部材は前記ベルト本体に係合及び係合解除可能としたことを要旨とするものである。

本発明の請求項２は、保持部材はベルト本体に取り付けられる枠体と枠体に回動自在に取り付けられた案内紐を取り付ける取付部を有すると共に枠体と取付部の何れか一方に前記ベルト本体に係合する突部を設けたことを要旨とするものである。

【発明の効果】

【０００６】

本発明により、釣用ベルトに取り付けられる案内紐の少なくとも一方の端部にベルト本体に沿って移動可能な保持部材を取り付け、ベルト本体に対して保持部材は係合及び係合解除可能で移動出来るので、調整が容易である。

ベルト本体に沿って移動可能な保持部材の枠体と枠体に回動可能な取付部の突部でベルト本体を挟み込んで係止するので、案内紐を取り付けた保持部材の位置調整が極めて容易である。

【発明を実施するための最良の形態】

【０００７】

釣用ベルト１は真田紐のように合成樹脂繊維を織り込んだベルト本体２の一方の折り返した外側にバックルＡが取り付けられると共に折り返したベルト本体２の端部２ａは横長の四角形の周辺フレームの中央を上下方向に横切って架設された中央のフレームを有する調整環体３の一辺３ａに取り付けられている。

バックルＡと調整環体３の間のベルト本体２には保持部材Ｂが取り付けられている。

ベルト本体２の他の端部２ｂ側には保持部材Ｂが取り付けられている。

保持部材Ｂはベルト本体２に取り付けられる枠体４と枠体４に回動自在に取り付けられる取付部５で構成されて枠体４の内面と取付部５の突部５ａとの間にベルト本体２が挟み込まれている。

二つの保持部材Ｂの一方の取付部５には連結布１０を介して案内紐１１の一端が固定され、案内紐１１の他端に止め具６が取り付けられている。

他方の取付部５には連結布１０を介して止め具６′が取り付けられている。

【実施例１】

【０００８】

以下、図示の一実施例によって本発明を説明すると、図１はベルト本体のバックルと案内紐の止め具が開かれた釣用ベルトの斜視図と案内紐を取り付けた側の保持部材の拡大斜視図、図２は案内紐を止め具を介して取り付けた側の保持部材の拡大斜視図、図３は保持部材の（ａ）は側面図で（ｂ）は平面図で（ｃ）は他の側面図、図４はバックルの組み立て状態の断面平面図、図５は表バックルの正面図、図６は表バックルの平面図、図７は表バックルの裏面図、図８は裏バックルの（ａ）は正面図で（ｂ）は平面図で（ｃ）は裏面図、図９は連結部材の（ａ）は正面図で（ｂ）は平面図で（ｃ）は他の側面図、図１０は釣人が案内紐を前側にして釣用ベルトを着用して釣中の正面図である。

【０００９】

釣用ベルト１は真田紐のように合成樹脂繊維を織り込んだベルト本体２の一方の折り返した外側にバックルＡが取り付けられると共に折り返したベルト本体２の端部２ａは横長の四角形の周辺フレームの中央を上下方向に横切って架設された中央のフレームを有する調整環体３の一辺３ａに取り付けられている。

ベルト本体２の折り返しを内側にしてベルト本体２の端部２ａは調整環体３の中央のフレームに取り付け、折り返した外側にバックルＡを取り付けてもよい。

バックルＡと調整環体３の間のベルト本体２には保持部材Ｂが取り付けられている。

ベルト本体２の他の端部２ｂ側には保持部材Ｂが取り付けられている。

保持部材Ｂはベルト本体２に取り付けられる枠体４と枠体４に回動自在に取り付けられる取付部５で構成されて枠体４の内面と取付部５の突部５ａとの間にベルト本体２が挟み込まれている。

二つの保持部材Ｂの一方の取付部５には連結布１０を介して案内紐１１の一端が固定され、案内紐１１の他端に止め具６が取り付けられている。
他方の取付部５には連結布１０を介して止め具６′が取り付けられている。
案内紐１１には環１２とロープ１３を介してビクやおとりを入れる引き舟などの魚入れ容器１４が取り付けられている。

【００１０】

枠体４は上下に鉤部４ａ、４ｂが突出形成され、鉤部４ａ、４ｂに夫々透孔４ｃが穿設されている。
取付部５は長方形の基部５ｂの上下にピン軸５ｃ、５ｃが形成され、基部５ｂに直角方向にベルト本体２に係合する複数の大きな突部５ａが形成され、基部５ｂの延長部５ｄに連結布１０が取り付けられている。
図３（ａ）では取付部５に複数の大きな突部５ａが形成され、枠体４の内側に複数の小さな突部４ｄが形成されている。
大きな突部は枠体４の内側に形成してもよい。
枠体４の透孔４ｃに取付部５のピン軸５ｃ、５ｃが回動自在に挿入されている。
ベルト本体２に保持部材Ｂは、枠体４の内面と取付部５の突部５ａでベルト本体２の両面を挟み込むようにして取り付けられている。

【００１１】

ベルト本体２の一方の折り返した外側に取り付けられたバックルＡは、表バックル体７と裏バックル体８と連結部材９で構成されている。
表バックル体７は四角形の板７ａの裏面上下に突出部７ｂ、７ｃと四角形の板７ａとベルト本体２の厚さより広い間隔αをおいて渡り板７ｄが一体に形成されている。
突出部７ｂ、７ｃには透孔７ｅが穿設されている。
四角形の板７ａの内側には幾分湾曲した面７ｆ、７ｇが形成されている。
２つの面７ｆ、７ｇの交わる位置付近に小さな複数の突起７ｈが上下方向に形成されている。
裏バックル体８は細長い板８ａの上下に突出部８ｂ、８ｃが形成され、突出部８ｂ、８ｃには透孔８ｄが穿設されている。
板８ａの内側には小さな複数の突起８ｅが上下方向に形成されている。
連結部材９は細長い長方形の板９ａの上下左右にピン軸９ｂ、９ｃ、９ｄ、９ｅが形成され、長方形の板９ａの長手方向の両端に夫々外向きの突堤９ｆ、９ｇが形成されて突堤９ｆ、９ｇに夫々歯形９ｈ、９ｉが形成されている。

【００１２】

バックルＡが組み合わされる時は図４のように、表バックル体７の透孔７ｅに連結部材９のピン軸９ｂ、９ｄが回動自在に挿入される。
裏バックル体８の透孔８ｄに連結部材９のピン軸９ｃ、９ｅが回動自在に挿入される。
ベルト本体２の一方の折り返した外側にバックルＡが取り付けられる時、図１、図４のようにベルト本体２の折り返し部２ｃと調整環体３側の保持部材Ｂの間のベルト本体２が裏バックル体８と連結部材９の間に挿通されて歯形９ｉがベルト本体２に押し当てられて係合される。
釣用ベルト１を身体に装着する時は、ベルト本体２の他の端部２ｂが表バックル体７と連結部材９の間に挿通されて歯形９ｈがベルト本体２に押し当てられて係合される。
表バックル体７と連結部材９の間に挿通されたベルト本体２の他の端部２ｂの突出長さが長い時は、裏バックル体８の位置調整や調整環体３の位置調整でおこなう。

【００１３】

案内紐１１はベルト本体２に二つの保持部材Ｂで夫々取り付けられており、保持部材Ｂは、枠体４の内面と取付部５の突部５ａでベルト本体２の両面を挟み込むようにして取り付けられている。
ベルト本体２の長さが調整された後や案内紐１１に適度の緩みを持たせた状態にする時は、保持部材Ｂの取付部５を枠体４に対して回動することで突部５ａをベルト本体２から

外して枠体４を移動しておこなう。

【００１４】

前記のように釣用ベルト１が構成されると、案内紐１１の少なくとも一方の端部にベルト本体２に沿って移動可能な保持部材Ｂを取り付け、ベルト本体２に対して保持部材Ｂは係合及び係合解除可能で移動出来るので、調整が極めて容易である。

ベルト本体２に沿って移動可能な保持部材Ｂの枠体４と枠体４に回動可能な取付部５の突部５ａでベルト本体２を挟み込んで係止するので、案内紐１１を取り付けた保持部材Ｂの位置調整が極めて容易である。

【産業上の利用可能性】

【００１５】

本発明は釣り用ベルト全般に利用できる。

【図面の簡単な説明】

【００１６】

【図１】ベルト本体のバックルと案内紐の止め具が開かれた釣用ベルトの斜視図と案内紐を取り付けた側の保持部材の拡大斜視図である。

【図２】案内紐を止め具を介して取り付けた側の保持部材の拡大斜視図である。

【図３】保持部材の（ａ）は側面図で（ｂ）は平面図で（ｃ）は他の側面図である。

【図４】バックルの組み立て状態の断面平面図である。

【図５】表バックルの正面図である。

【図６】表バックルの平面図である。

【図７】表バックルの裏面図である。

【図８】裏バックルの（ａ）は正面図で（ｂ）は平面図で（ｃ）は裏面図である。

【図９】連結部材の（ａ）は正面図で（ｂ）は平面図で（ｃ）は他の側面図である。

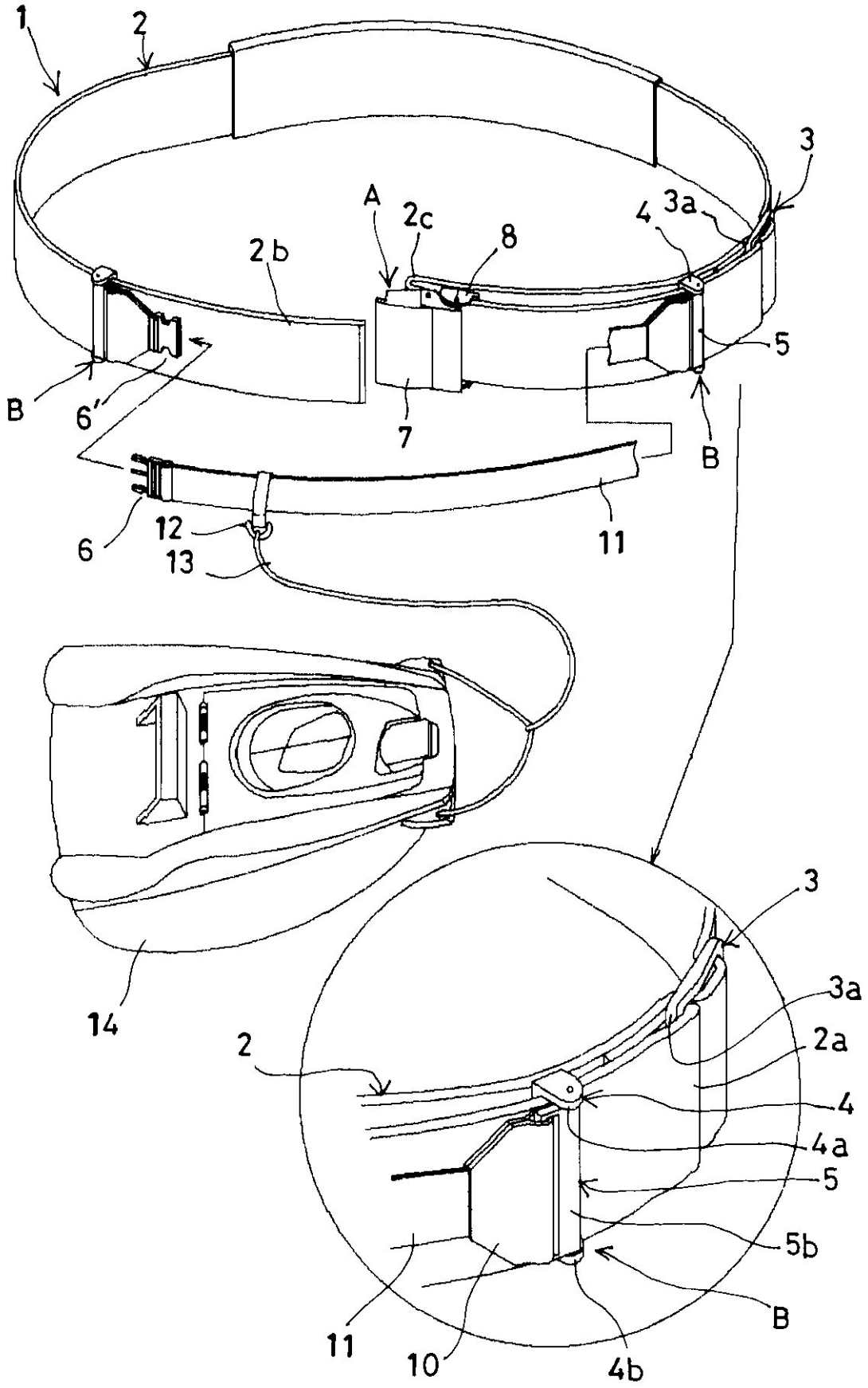
【図１０】釣人が案内紐を前側にして釣用ベルトを着用して釣中の正面図である。

【符号の説明】

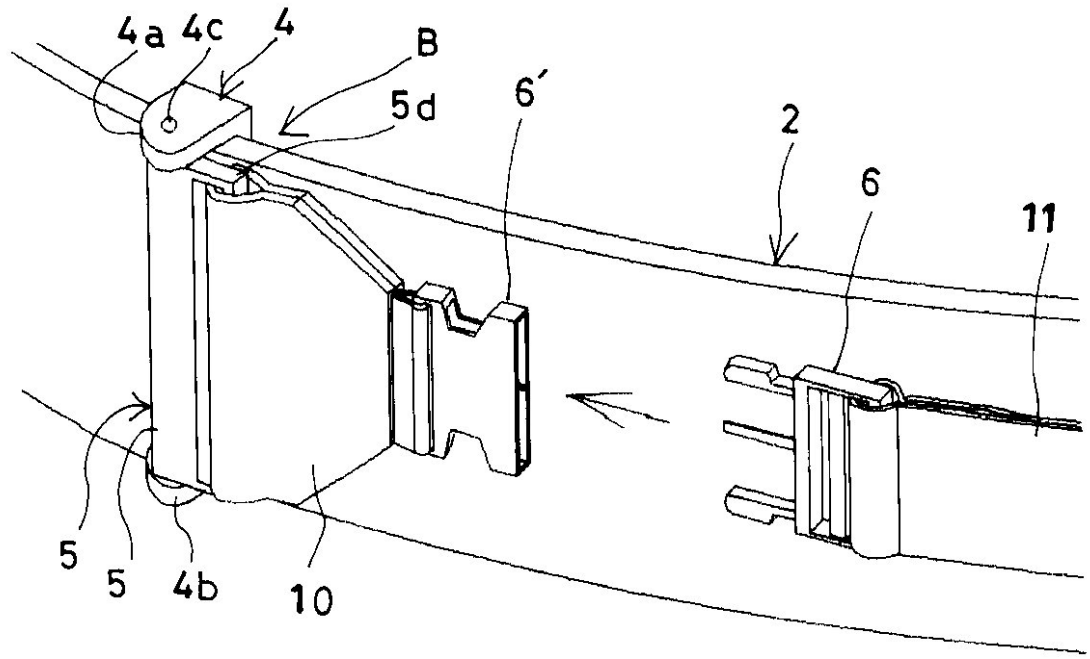
【００１７】

１　釣用ベルト
２　ベルト本体
４　枠体
５　取付部
５ａ　突部
１１　案内紐
Ｂ　保持部材

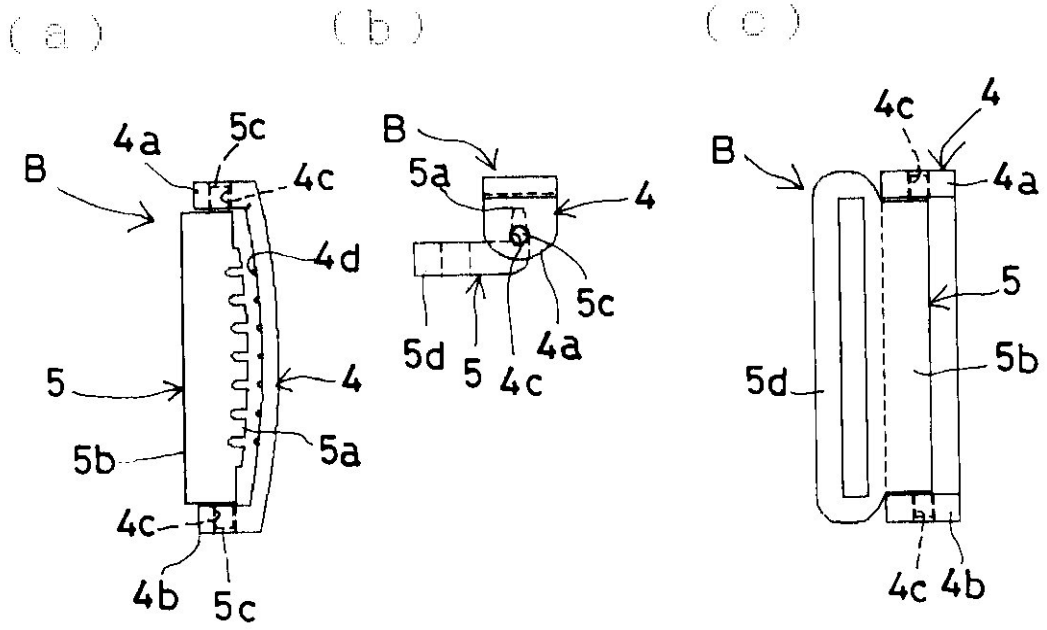
【図１】



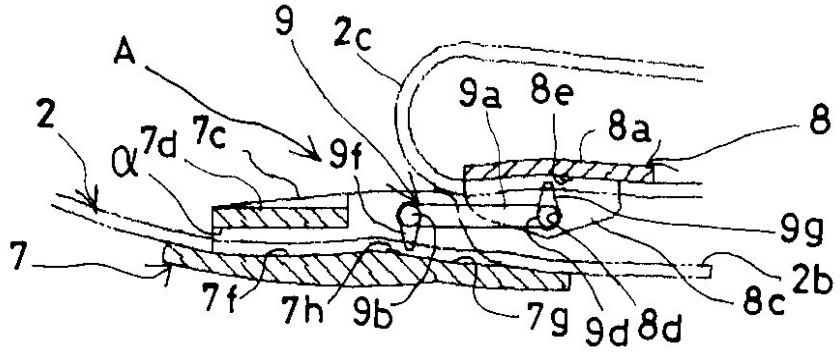
【図２】


4a
4c
4
B
5d
6′
2
6
11
5
5
4b
10

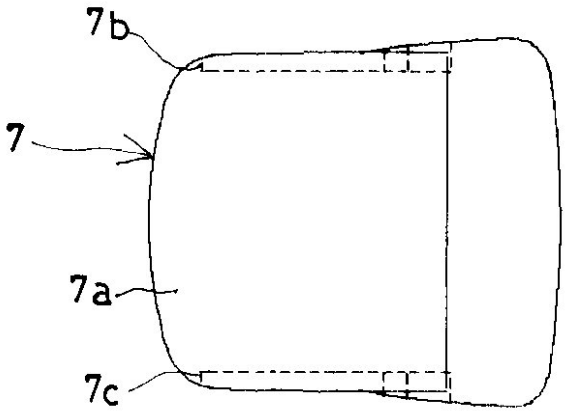
【図３】


(a)
(b)
(c)
4a
5c
B
4c
4d
5
4
5b
5a
4c
4b
5c
B
5a
4
5c
5d
5
4c
4a
4c
4
B
4a
5
5b
5d
4c
4b

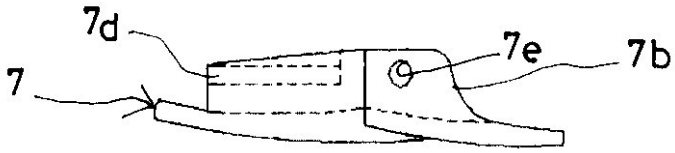
【図４】


9
2c
A
9a
8e
8a
8
2
α
7d
7c
9f
9g
7
2b
8c
7f
7h
9b
7g
9d
8d

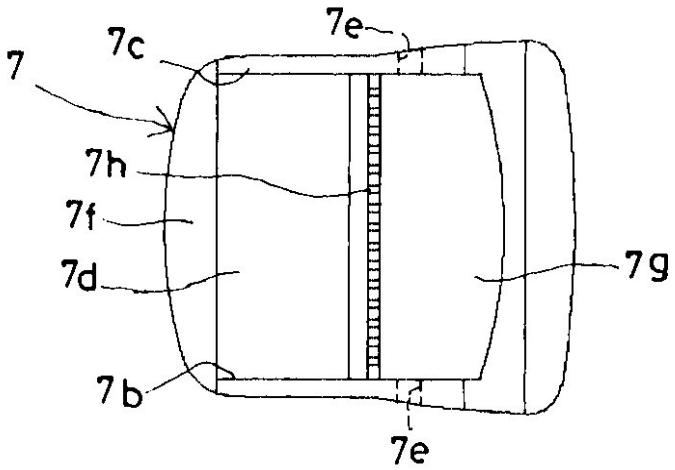
【図５】



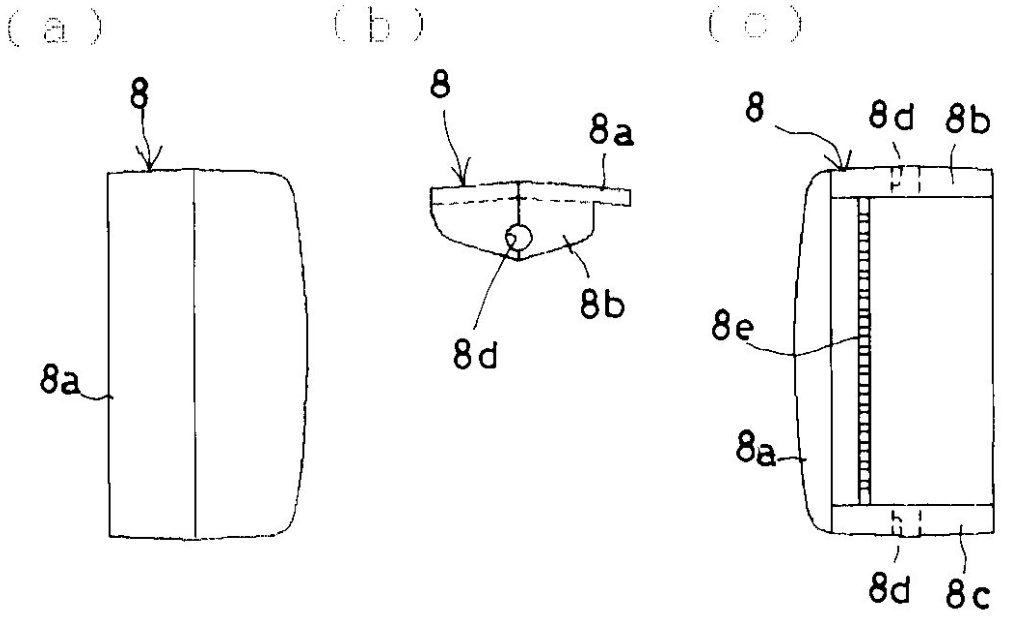
【図６】



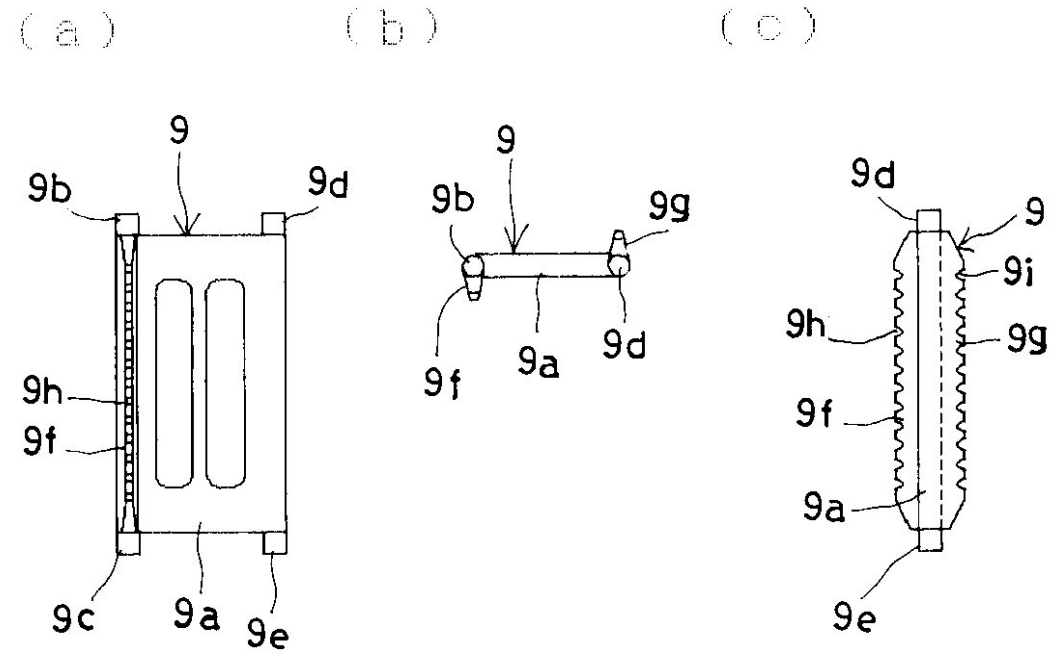
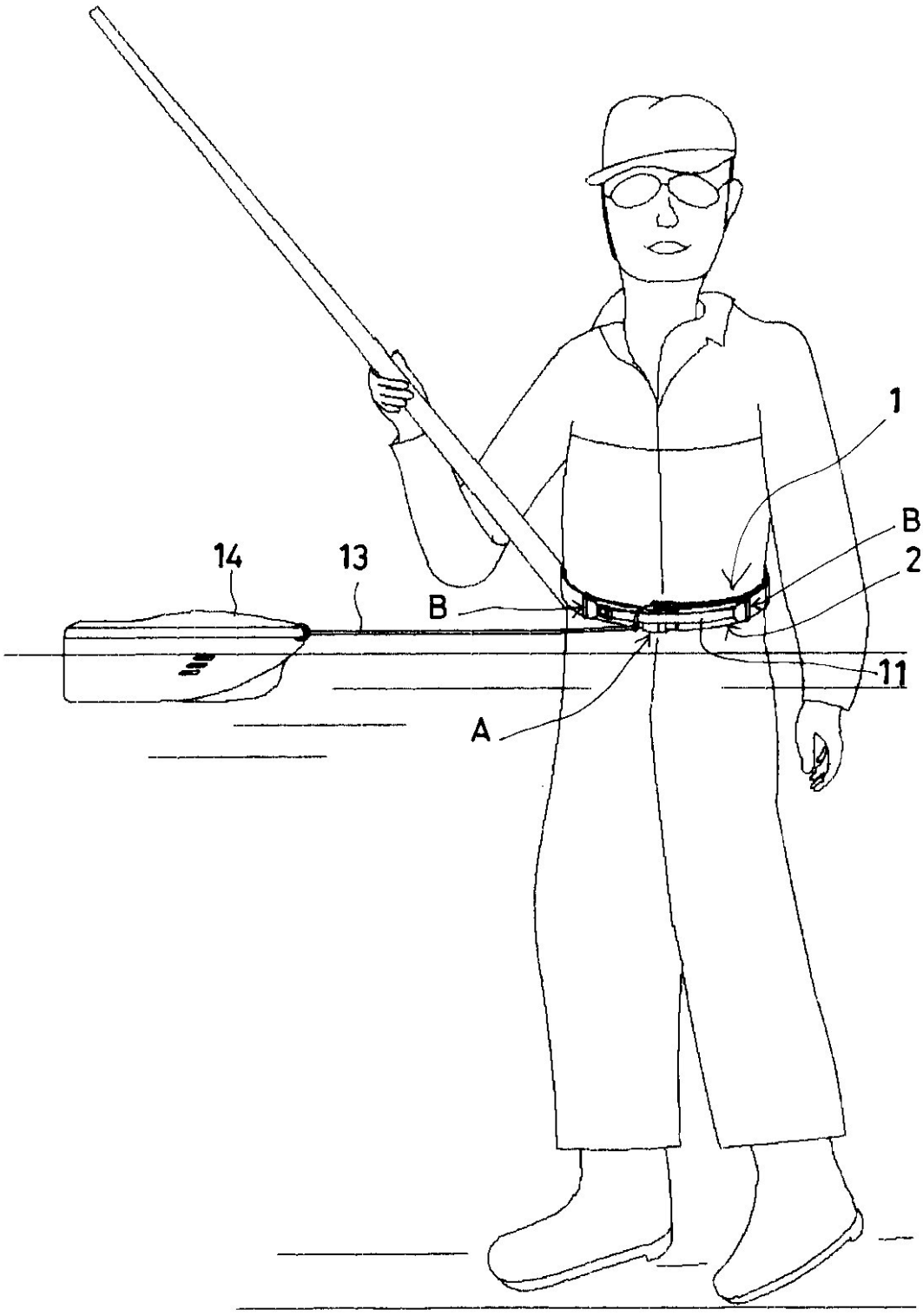
【図７】



【図８】


(a)
(b)
(c)
8
8a
8
8a
8b
8d
8
8d
8b
8e
8a
8d
8c

【図９】


(a)
(b)
(c)
9
9b
9d
9h
9f
9c
9a
9e
9
9b
9g
9f
9a
9d
9d
9
9i
9h
9g
9f
9a
9e

【図１０】